

事業報告

令和6年度 第2回 大分県公立図書館等職員研修会

日時	令和6年7月1日(月) 12:50~16:10
会場	大分県立図書館 1階 第2・3研修室
参加形態	①集合型 ②オンデマンド参加(後日動画限定配信)
参加者	公立図書館等職員 102名 (①22名 ②80名)

<研修趣旨>

公立図書館等の職員に対し、日常業務に伴って生じる課題を解決できるよう、知識やスキルを学ぶことにより、県内全体での司書のスキルアップを図る。

<研修内容>

- 講義 「災害時の図書館をイメージし対応や備えを考える減災ワークショップ
—過去の被災図書館の実例から学ぶ—」
講師 一般社団法人減災ラボ 代表理事、博士(工学) 鈴木 光 氏

講義内容

はじめに
能登半島地震の状況
図書館の震災イメージ
my図書館DIG(ワークショップ)
さいごに

<当日の様子(写真)>



<参加者感想>

- ◇被災地の図書館の様子、また復興に際して図書館がどのような役割を担えるのかを本気で考える良い機会となった。
- ◇災害を他人事と思わず、実際に起こった場合、被害を最小限にするためにどう行動すれば良いか、具体的に考えるきっかけとなった。
- ◇大規模災害の事例を踏まえた、図書館に特化した防災対策の視点が得られて大変有意義だった。早速、館内の見回りとスタッフへの情報共有を行っている。
- ◇災害時には後回しにされやすい部分（読書、癒しの場としての機能）も、日常に戻るためには必要だと改めて認識することができた。
- ◇ワークショップは他館との比較やマニュアルなどが聞けてとても参考になった。自館の検討課題もできたので、良かった。
- ◇動画視聴したが、とてもいい内容だったので、ワークショップに参加したかった。